

報告書

京都市の芸術家等の
活動状況に関する
アンケート調査結果について
〔団体・事業所〕



目 次

3 調査概要

4 基礎情報

4 団体・事業所の所在地

5 制作拠点

発表・活動場所

6 事業の開始年

経営形態

7 業務として行っているか

従業者数等

従業者の種別

8 主たる表現分野〈8分野〉

9 主たる業務内容・形態〈5分類〉

10 文化芸術活動とは別の業務

別の業務の分類

別の業務での

新型コロナウイルス感染症の影響

11 新型コロナウイルスの影響と収入損失について

延期または中止があるか

収入損失の計

収入損失の月別推移

12 表現分野別の収入損失〈8分野〉

13 業務内容別の収入損失〈5分類〉

14 受け取る予定だった収入元

業務内容別の受け取る予定だった収入元〈5分類〉

15 支払いに影響のある経費

業務内容別の支払いに影響のある経費〈5分類〉

16 現在困っていること

現在困っていること

17 業務内容別の困っていること〈5分類〉

18 必要な支援について

必要な支援

19 業務内容別の必要な支援〈5分類〉

20 活用している（検討を含む）支援策や制度

21 自由回答から

現状について

22 支援策について

23 実践している取組

24 その他

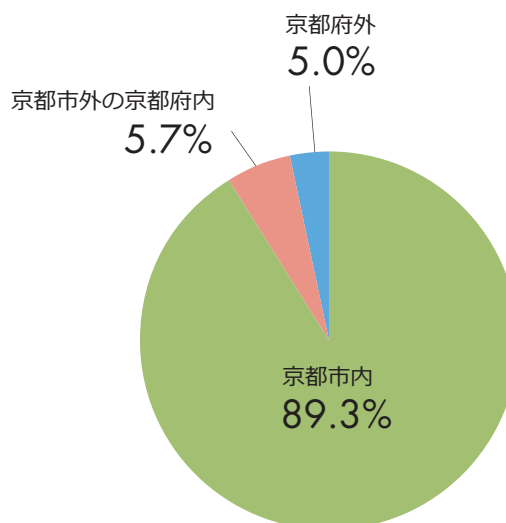
調査概要

回答期間	2020年5月7日～5月20日(14日間)
調査実施者	京都市(実施受託:京都芸術センター〈公益財団法人京都市芸術文化協会〉)
調査対象	①京都市内に居住あるいは拠点をもち芸術家及び文化芸術を支える個人 ②京都市を拠点または市内で活動をする文化芸術活動に関わる団体・事業所
調査方法	インターネット調査(一部、郵送調査)
回答数	個人1,184件、団体・事業所292件
有効回答数	個人1,122件、団体・事業所280件 ※居住(所在)地、制作の場所、活動・発表場所のうち、いずれかが京都府内の回答
調査設計・分析協力	大澤寅雄(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事) 樋口貞幸(大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)、中川眞(大阪市立大学都市研究プラザ特任教授) 吉澤弥生(共立女子大学文芸学部教授)
報告書発行	京都市、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)

2010年以降に事業を開始した創業10年未満の団体・事業所が全体の4割、また個人経営が35.4%、任意団体が35.7%と、法人格のない団体・事業所が7割を超えた。業務として文化芸術事業を行っている団体・事業所が7割を超えており、従業者数については5人以下が48.5%となった。

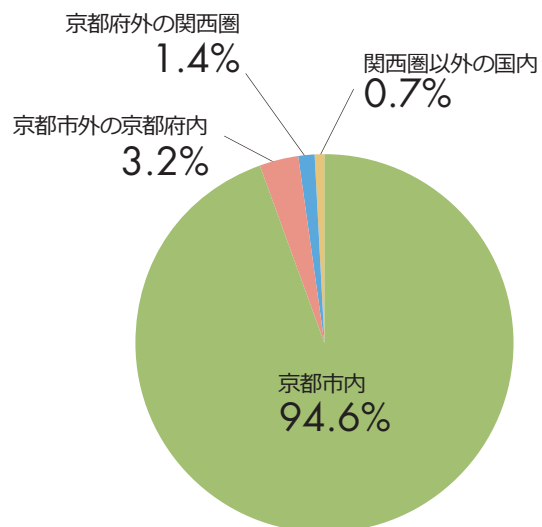
団体・事業所の所在地

	件数
京都市内	250
京都市外の京都府内	16
京都府外	14
無回答	0
全体(n)	280



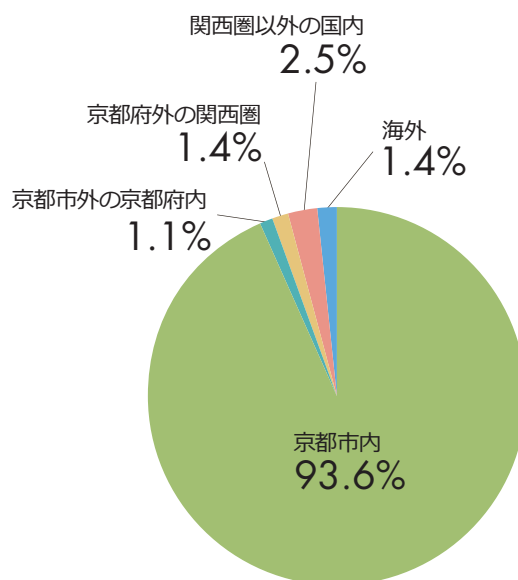
制作拠点

	件数
京都市内	265
京都市以外の京都府内	9
京都府以外の関西圏	4
関西圏以外の国内	2
海外	0
無回答	0
全体(n)	280

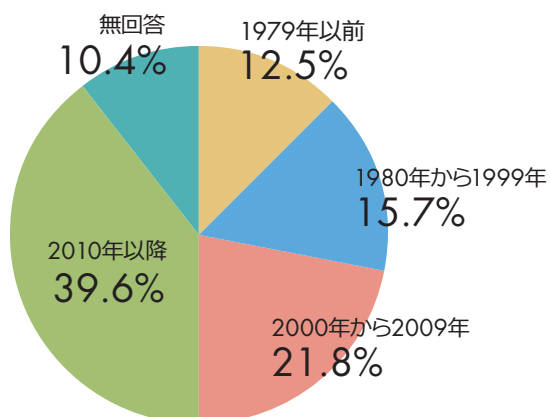


発表・活動場所

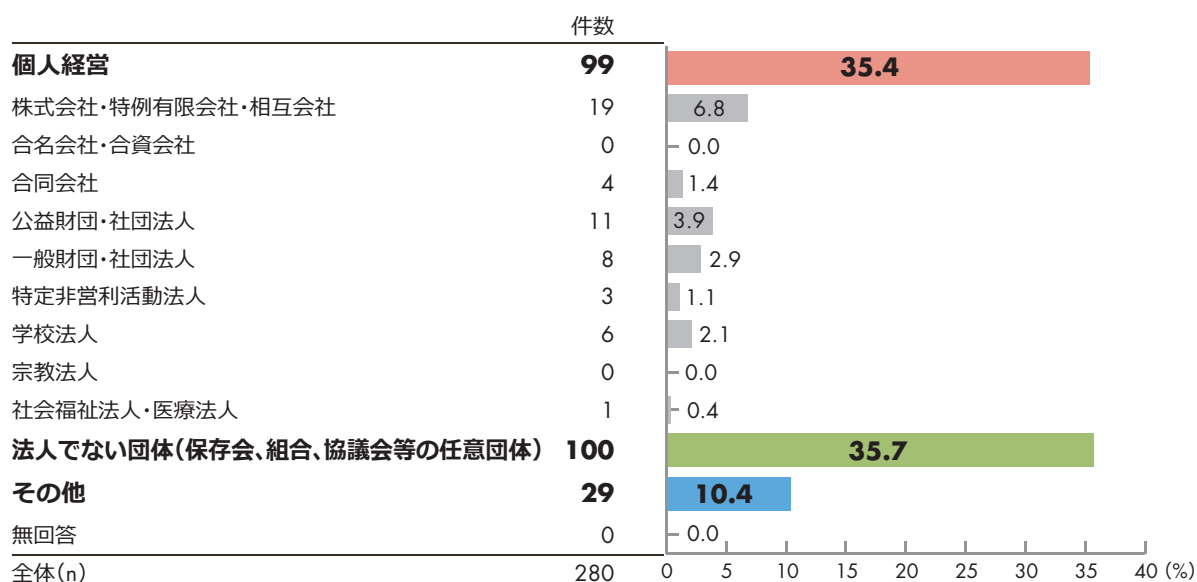
	件数
京都市内	262
京都市外の京都府内	3
京都府以外の関西圏	4
関西圏以外の国内	7
海外	4
無回答	0
全体(n)	280



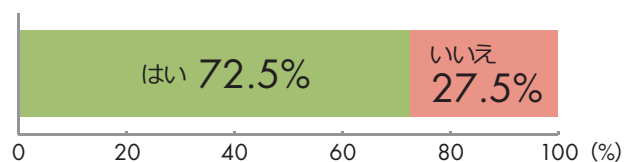
事業の開始年



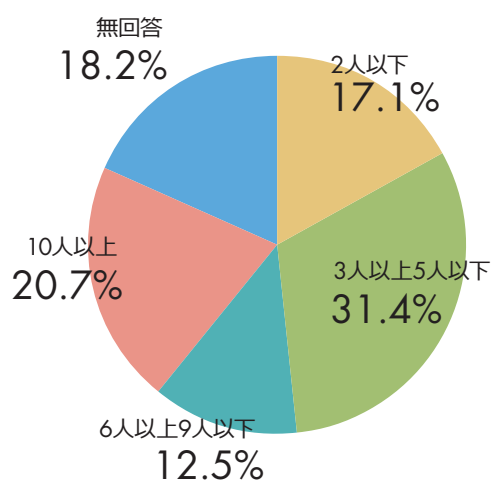
経営形態



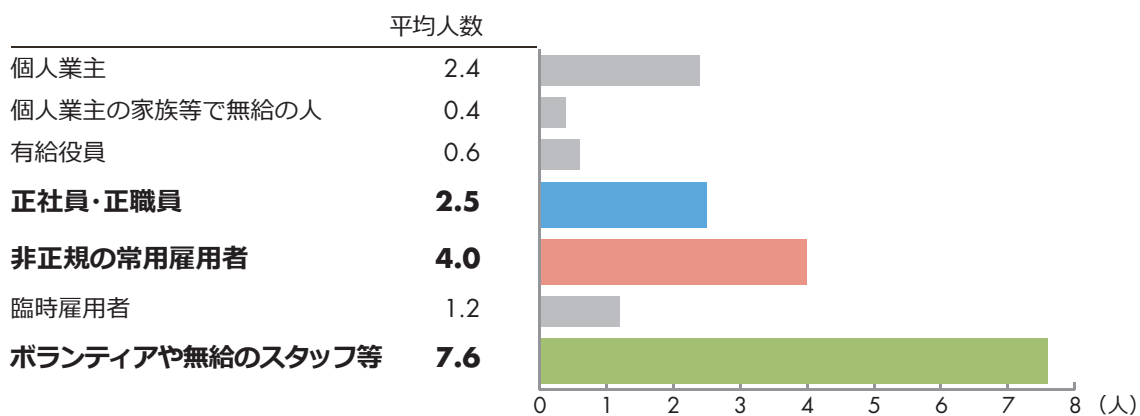
業務として行っているか



従業者数等

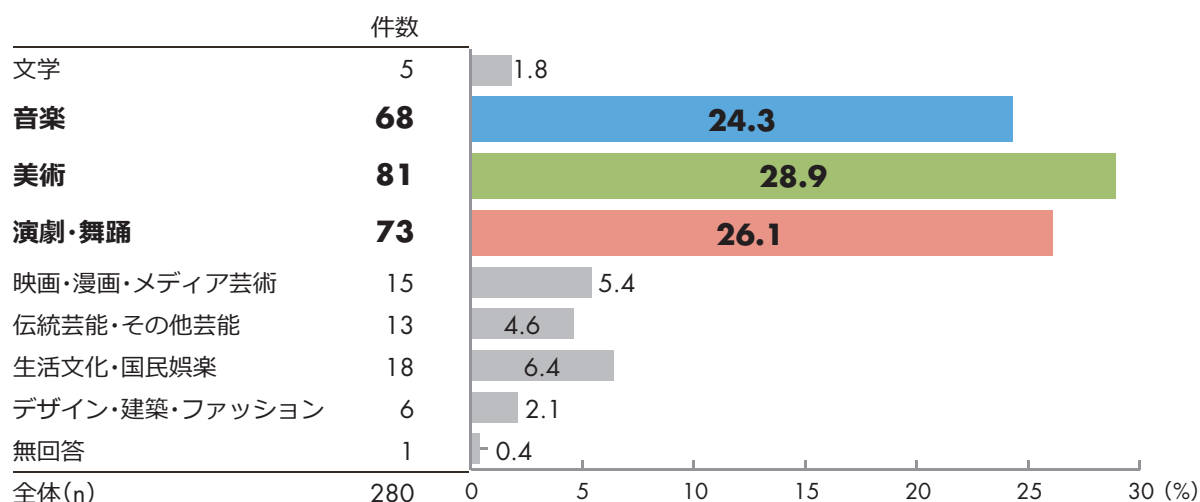


従業者の種別



分野については美術、演劇・舞踊、音楽の順に多い。創作発表・販売を業務とする団体・事業者が最も多く、技術提供をする団体・事業所からの回答は比較的小さい結果となった。文化芸術活動とは別の業務を持っている団体・事業所は全体の4分の1で、教育・学習支援、商品販売などが多い。98.6%というほぼ全ての団体・事業所が別の業務でも新型コロナウイルス感染症の影響があると回答している。

主たる表現分野〈8分野〉



文学：小説、戯曲、随筆・詩・俳句・短歌・連句、評論・批評、その他文学

音楽：クラシック音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等）、ポピュラー音楽（ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲等）、邦楽（琴、三味線、尺八、笛・声明等）、エレクトロニカ・電子音楽、民族音楽、その他の音楽

美術：造形（絵画、版画、彫刻）、工芸（陶芸、書、染織、クラフト）、写真・映像、パフォーマンス（舞踊、演劇以外の身体芸術）、複合芸術・アートプロジェクト、その他の美術

演劇・舞踊：演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカル）、舞踊（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス）、ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンス、その他の舞台芸術

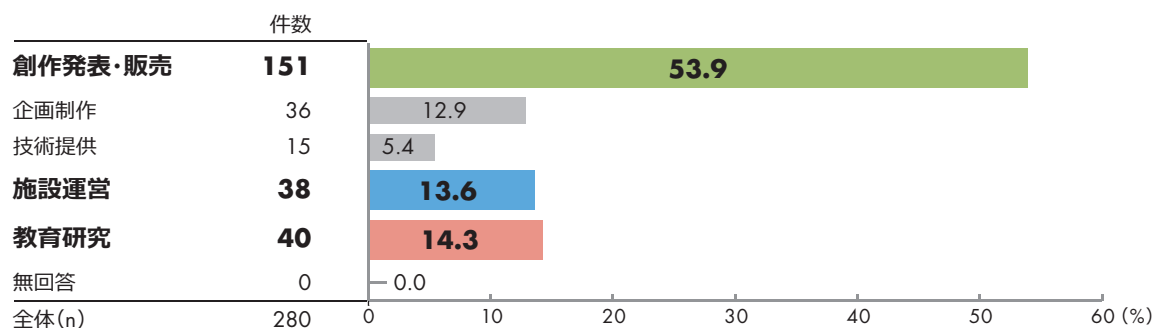
映画・漫画、メディア芸術：映画（アニメを除く）、アニメーション、漫画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）、その他のメディア芸術

伝統芸能・その他芸能：雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、日本舞踊、講談、落語、浪曲、漫才・漫談、その他の芸能

生活文化・国民娯楽：茶道、華道、フラワーアレンジメント、書道、香道、食文化、国民娯楽（囲碁・将棋等）、その他の生活文化

デザイン・建築・ファッション：グラフィックデザイン・ウェブデザイン、建築設計・インテリアデザイン、プロダクトデザイン、ファッション・服飾、その他のデザイン

主たる業務内容・形態〈5分類〉



創作発表・販売：音楽や舞台芸術・映画・アニメ等の作品創作、音楽や舞台芸術・映画・アニメ等の出演、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作・発表・販売・演出

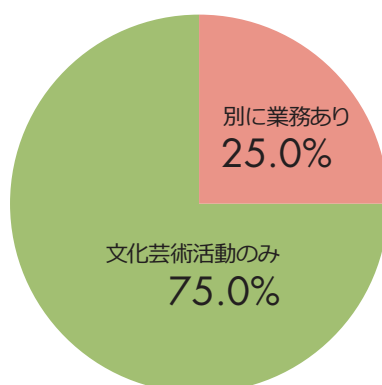
企画制作：プロデュース、ディレクション、キュレーション・ギャラリー企画、マネジメント・広報・プロモーション、コーディネーション・中間支援、その他企画

技術提供：照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供

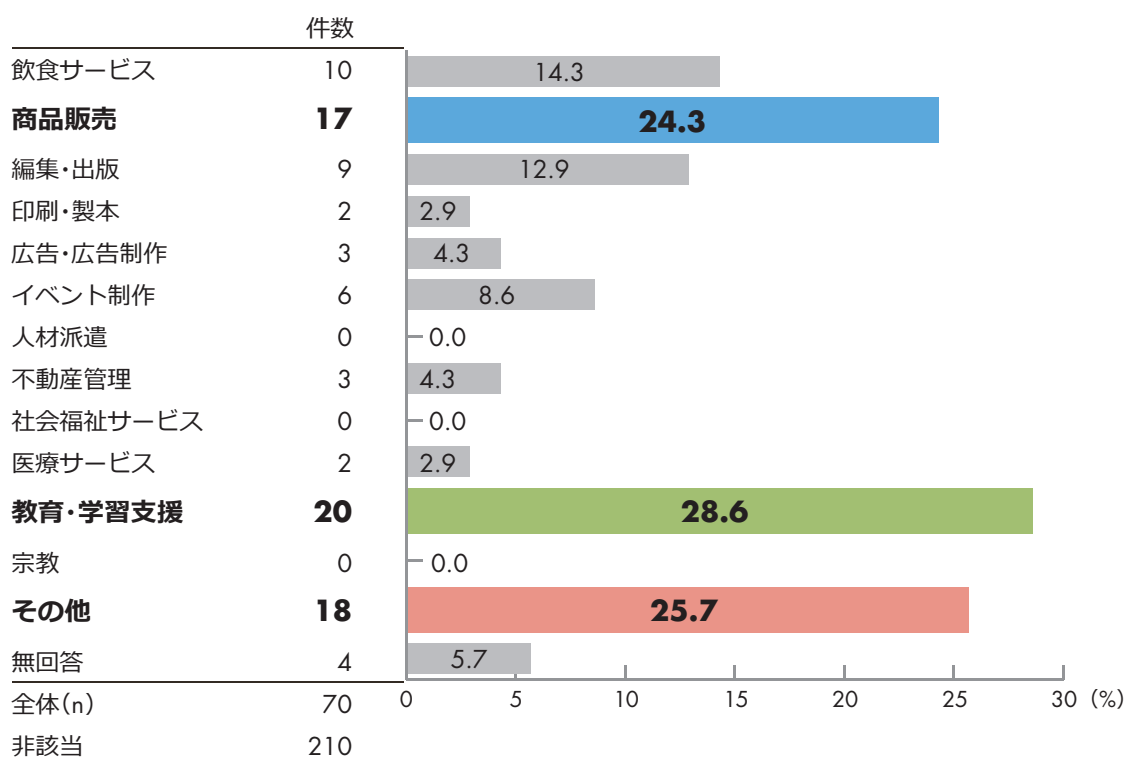
施設運営：ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、ギャラリー・古物商、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ・教室、その他の施設運営

教育研究：教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究

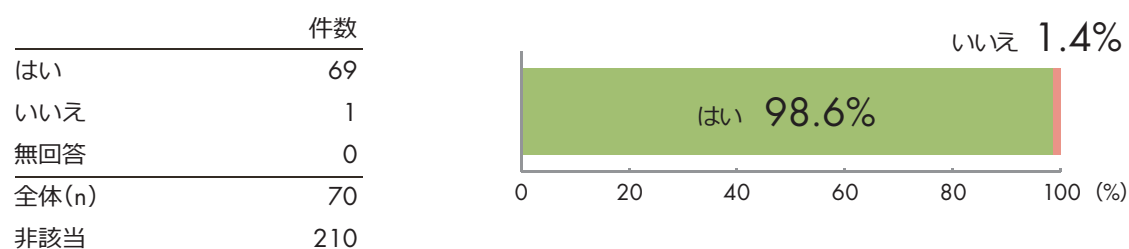
文化芸術活動とは別の業務



別の業務の分類



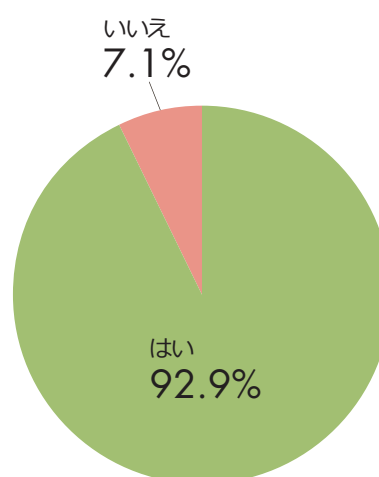
別の業務での新型コロナウイルス感染症の影響



1団体あたりの平均の損失額は約364万5千円となった。今回回答があった280の団体・事業所だけでも、2月から8月までの損失額を合計すると約8億7千万円となり、実際には更に大きな経済的損失が発生していると考えられる。月別で見ると、5月の収入損失額が最も大きかった。

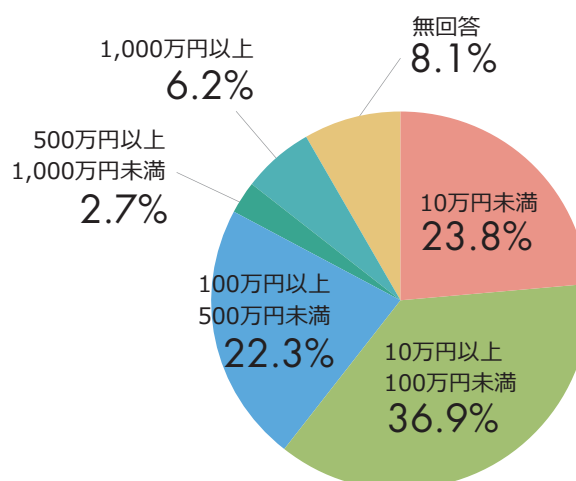
延期または中止があるか

	件数
はい	260
いいえ	20
無回答	0
全体	280
非該当	0

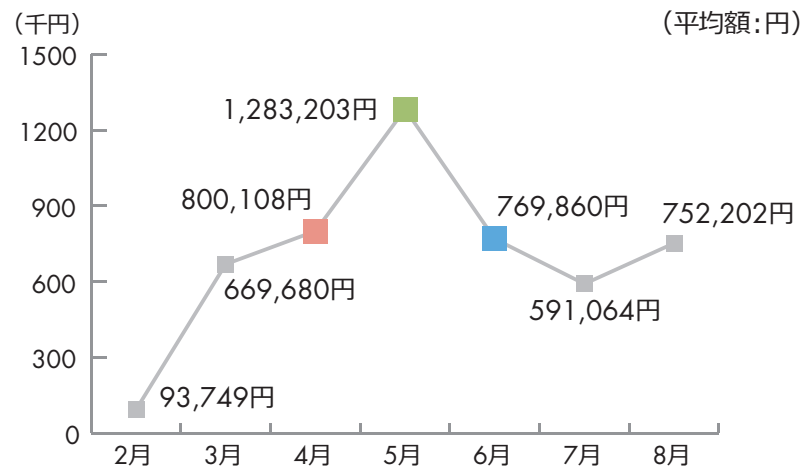


収入損失の計

	額(円)
合計	871,180,211
平均	3,645,105
最大値	298,000,000
最小値	0
全体(件)	239
無回答(件)	21
非該当(件)	20

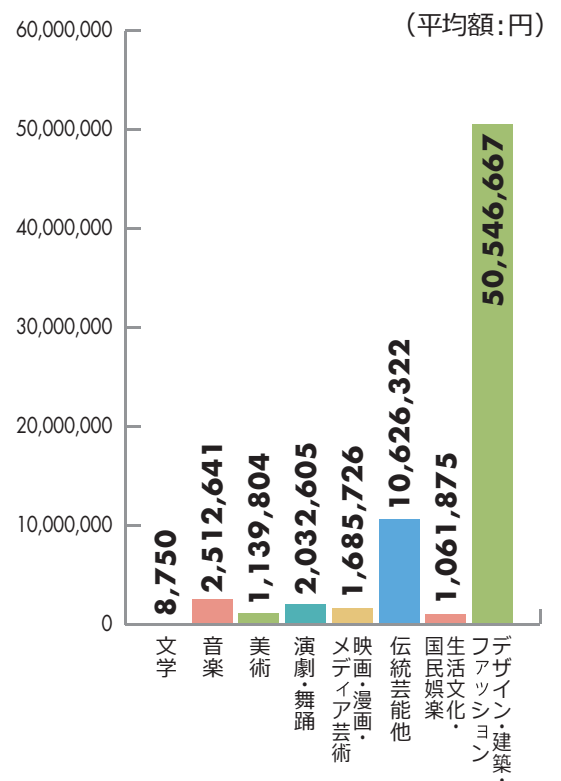


収入損失の月別推移



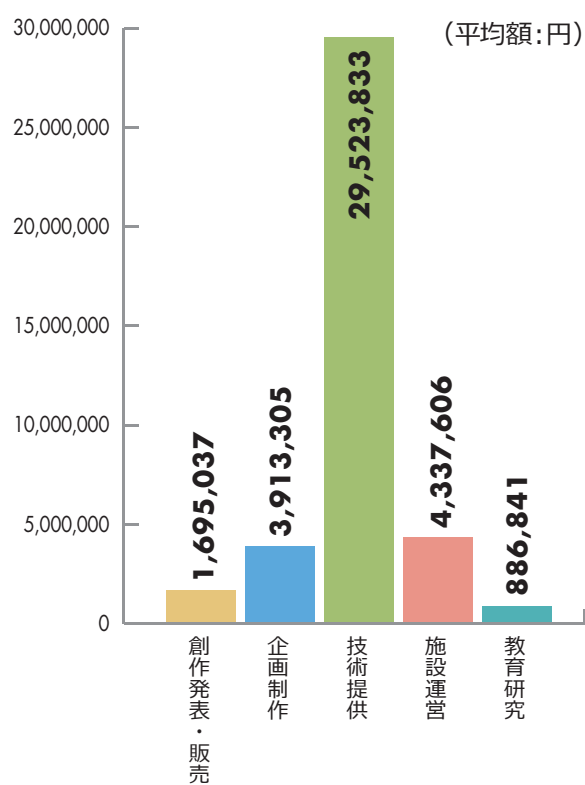
表現分野別の収入損失<8分野>(複数回答)

	件数	平均	合計
文学	4	8,750	35,000
音楽	63	2,512,641	158,296,398
美術	24	1,139,804	27,355,300
演劇・舞踊	65	2,032,605	132,119,353
映画・漫画・メディア芸術	14	1,685,726	23,600,160
伝統芸能・その他芸能	9	10,626,322	95,636,900
生活文化・国民娯楽	16	1,061,875	16,990,000
デザイン・建築・ファッション	6	50,546,667	303,280,000



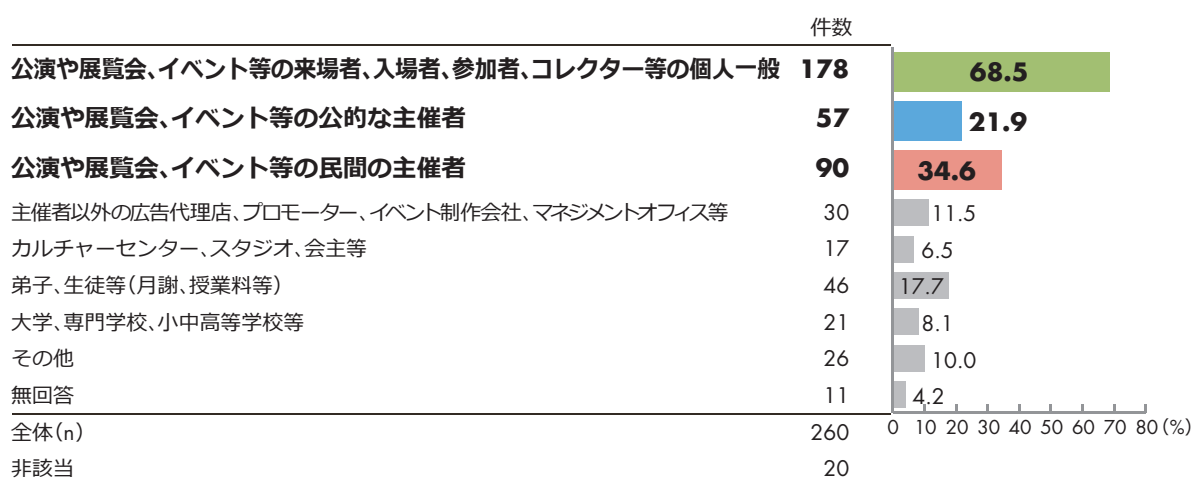
業務内容別の収入損失<5分類>(複数回答)

	件数	平均	合計
創作発表・販売	126	1,695,037	213,574,709
企画制作	33	3,913,305	129,139,060
技術提供	12	29,523,833	354,286,000
施設運営	33	4,337,606	143,140,992
教育研究	35	886,841	31,039,450

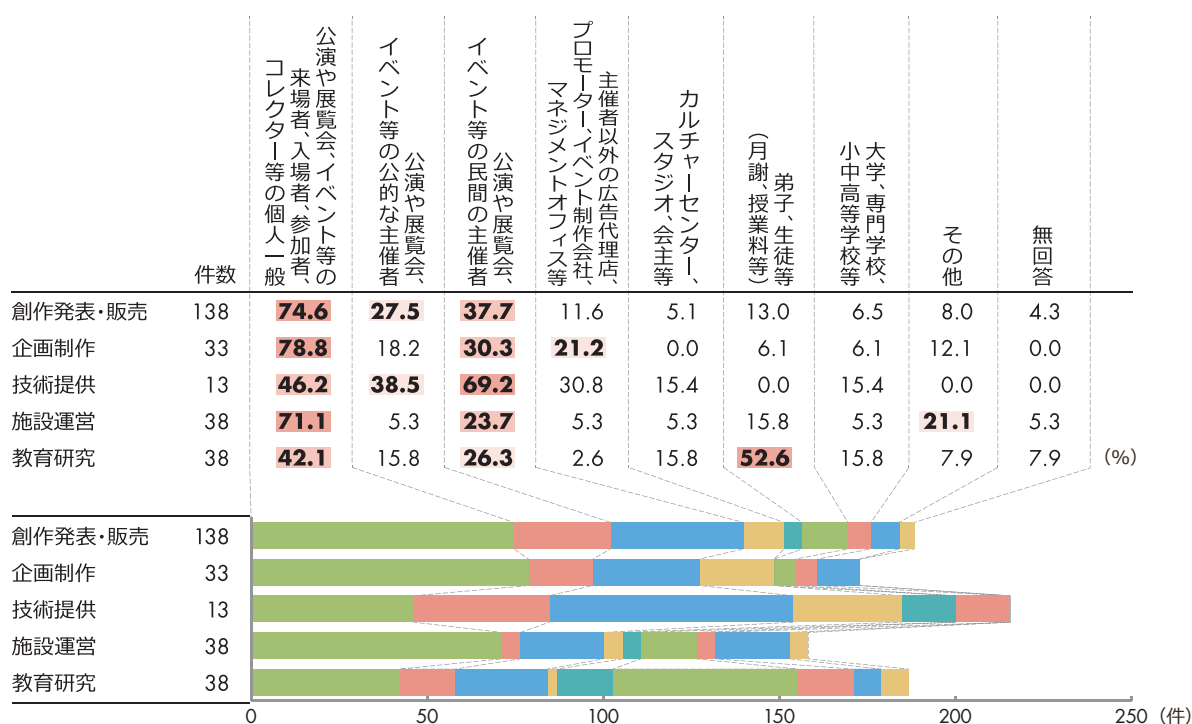


受け取る予定であった収入元を全体で見ると、「個人一般」「民間の主催者」「公的な主催者」が上位にあがった。経費については、あらゆる業務内容において、制作費・事業費・委託費、施設等の管理費や維持費、備品等の購入費の支払いへの影響が目立った。

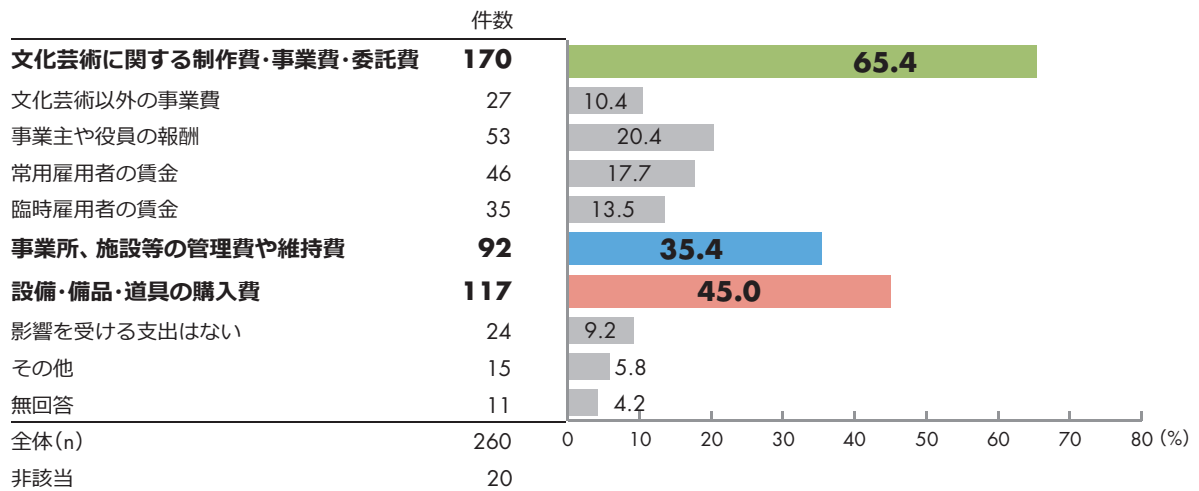
受け取る予定だった収入元(複数回答)



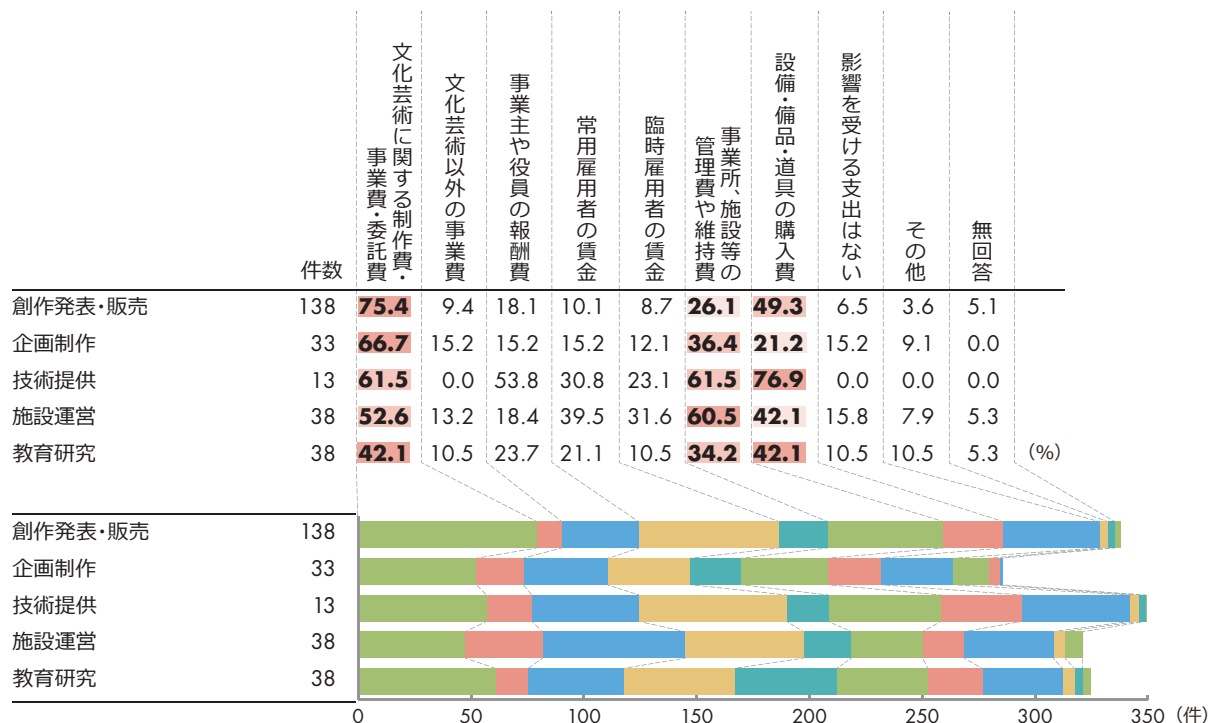
業務内容別の受け取る予定だった収入元(5分類)(複数回答)



支払いに影響のある経費(複数回答)

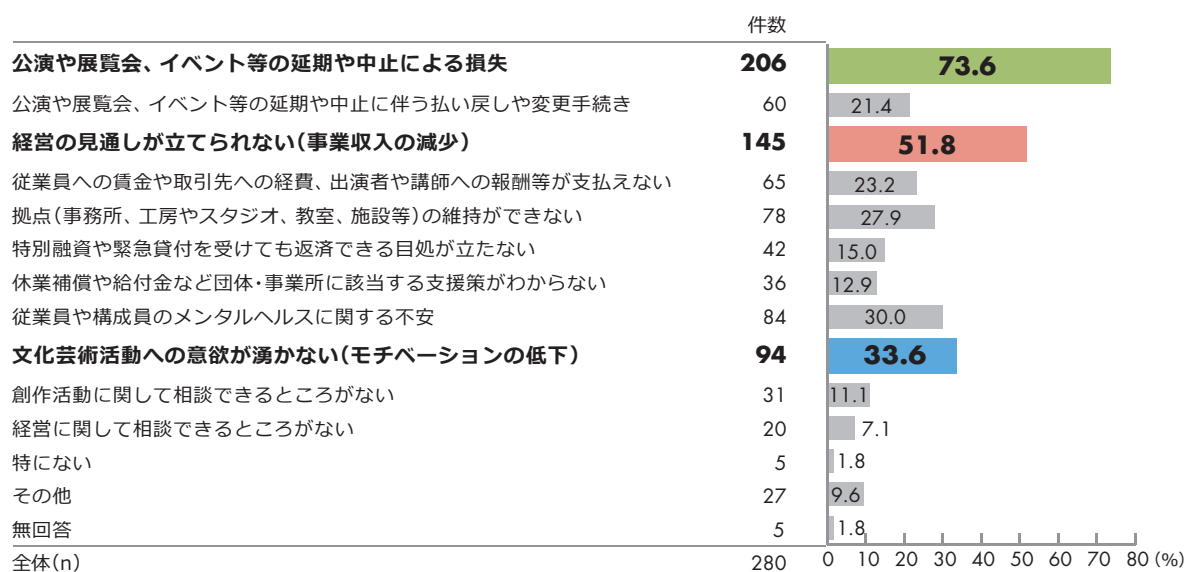


業務内容別の支払いに影響のある経費(5分類)(複数回答)

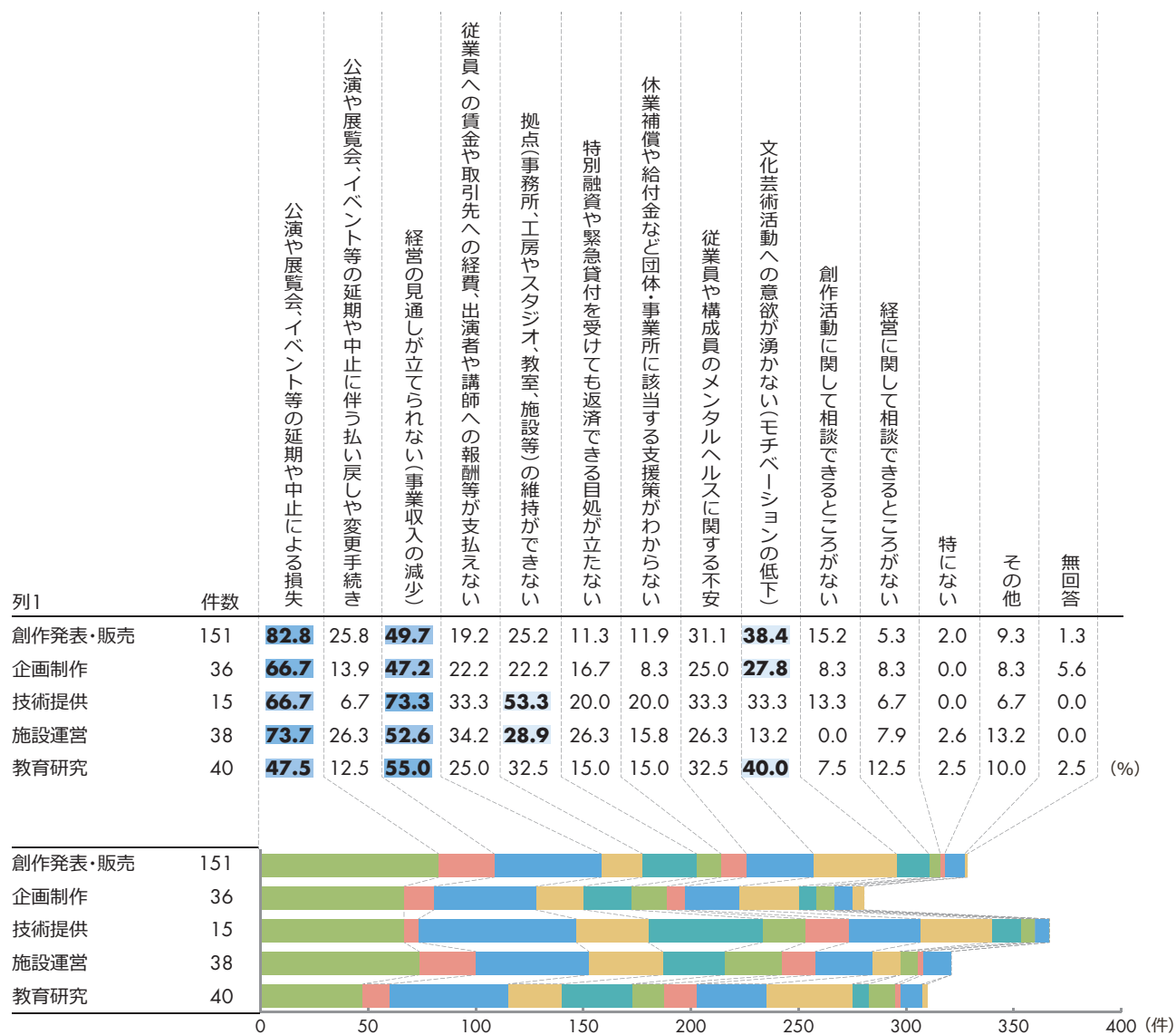


「公演や展覧会、イベント等の延期や中止による損失」が7割、「経営の見通しが立てられない」が5割を超えている。また、「文化芸術活動への意欲が湧かない」が33.6%であるなど厳しい状況。収入を受け取れないことで、前頁で示す経費の支払いにも影響を与えている。

現在困っていること(複数回答)



業務内容別の困っていること(5分類)(複数回答)

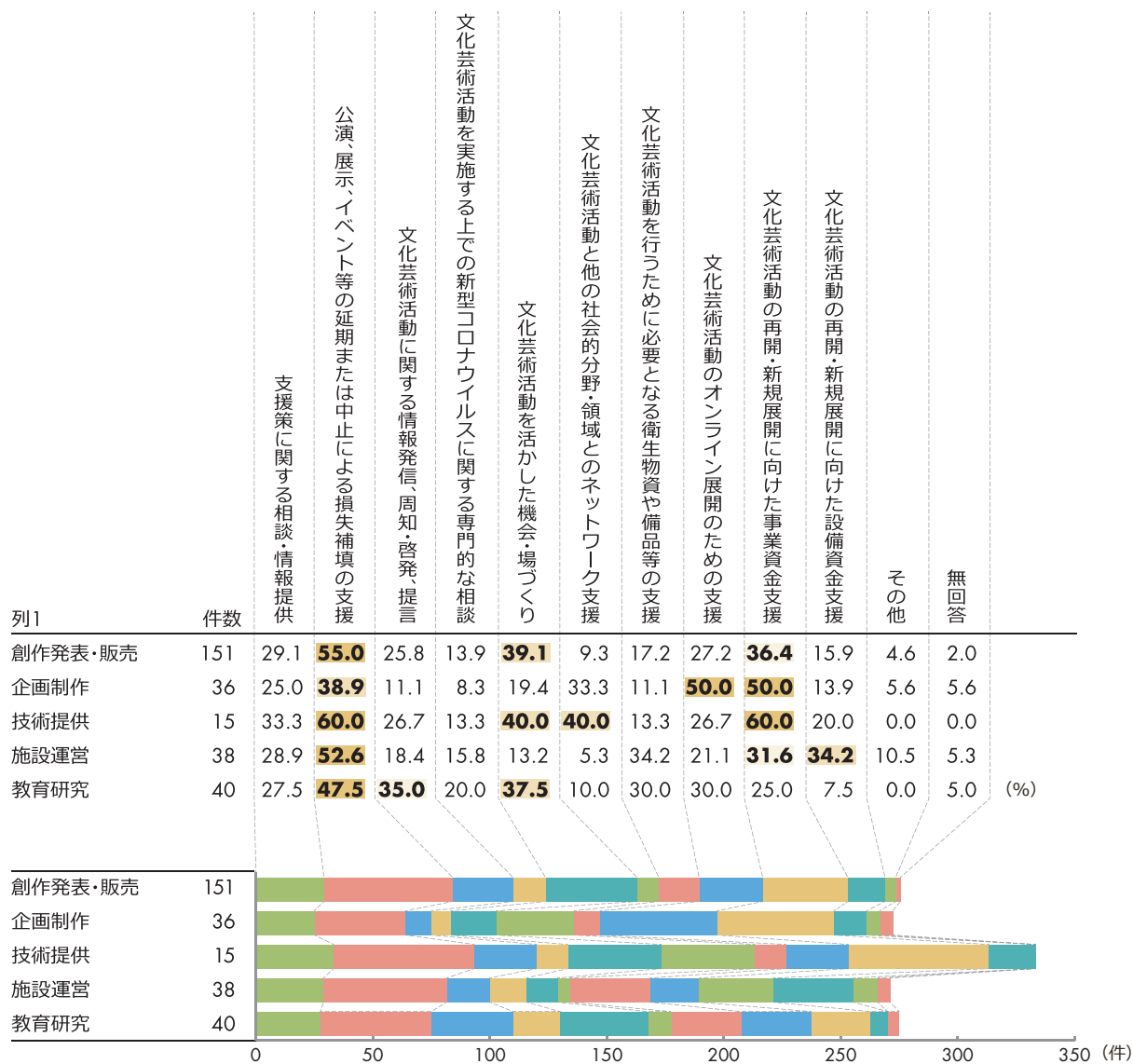


必要な支援については、損失補填に次いで、事業資金支援や機会・場づくり、オンライン展開への支援を求める声が多く見られた。活用(検討)している支援策としては、持続化給付金が一定見られるが、最も多い対応策は「蓄財(貯金)や基本財産の取り崩し」(38.9%)となっており、「特に検討していない」、「どうしていいかわからない」という回答が合わせて37.9%になるなど、必要な支援策の情報をどのように届けるかが課題となっている。

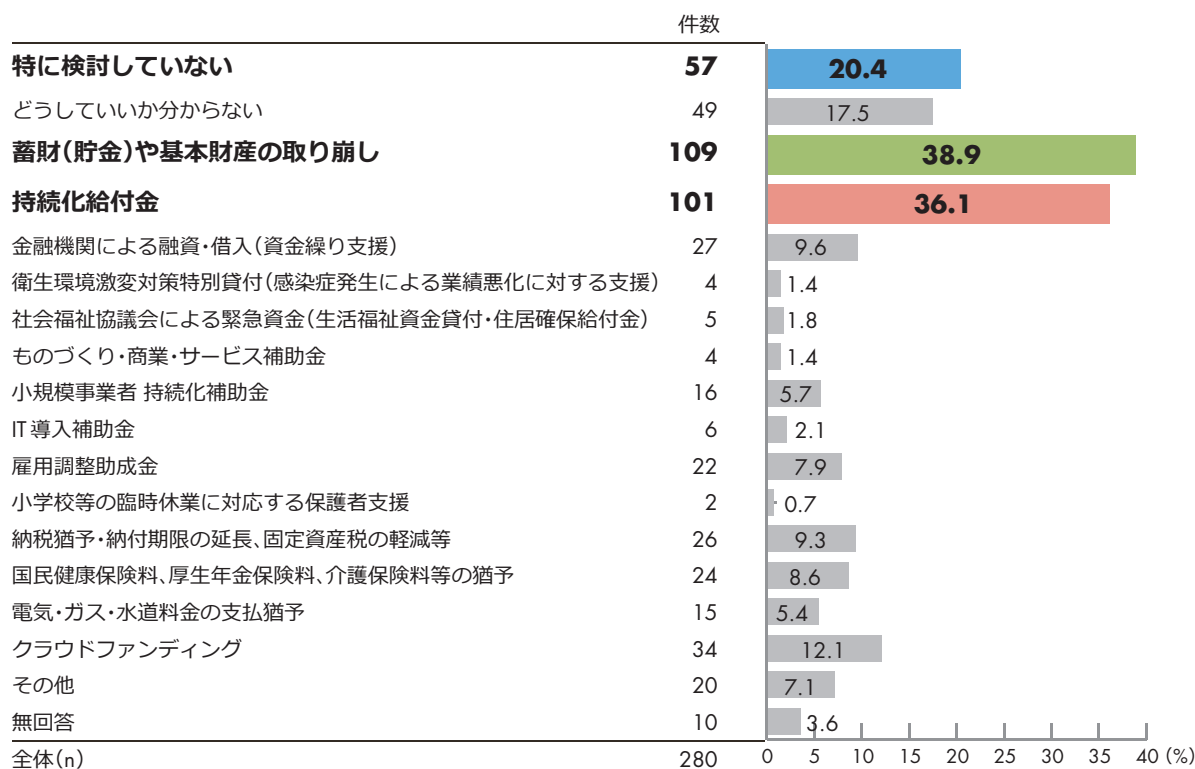
必要な支援(3つまでの複数回答)



業務内容別の必要な支援(5分類)(3つまでの複数回答)



活用している(検討を含む)支援策や制度(複数回答)



現状について

演劇はその特性から人が集まらなないと制作できず、停止状態に陥っている。その中でできることを模索している。(演劇・舞踊／施設運営)

4月以降、昨年比較で95%以上の売り上げが減少している。このままでは会社の維持もおぼつかない。(デザイン・建築・ファッション／技術提供)

自粛は必要だと思うが、活動可能になった時に動き出せるよう、モチベーションを保ち続ける努力をしています。(伝統芸能・その他芸能／創作発表)

いけばなの活動をなかなか再開できずにいる。収入が減ってこのままやめていく方もいるのではないと思う。会員が減ると活動もできなくなるので一日でも早い収束を願っている。(生活文化・国民娯楽／教育研究)

活動場所の賃料の支払いが難しくなったので、移転を考えている。(美術／企画制作)

活動の拠点としてきたクラブや飲食店が営業自粛に入り、活動する場を失っています。そこで生まれるはずの収益がないために技術の向上、機材のアップデートが困難です。また、これまでの活動で培ってきた京都のより良い繋がり、コミュニティ、カルチャー自体が衰退してきています。(音楽／企画制作)

所属作家の創作意欲が極端に落ちている。(美術／創作発表)

支援策について

適切な専門家や部局につないでもらうことのできる相談窓口がほしい。(美術／施設運営)

オンライン上で情報交換、新企画を話し合えるような場があればよい。(伝統芸能・その他芸能／創作発表)

経済、教育、文化を中心に社会活動が停止したことは大きな損失を伴うので、こういうときこそ行政のサポートが必要だと期待する。京都には本当に多くの世界に誇れる文化があると思うので、それを守ることが京都の大きな使命であると思います。(中略)京都の文化を今こそ守ってください。ご支援を期待していますし、こちらとしてもご支援にお応えしたいと思います。(演劇／企画制作)

奨励金や場所の提供はありがたいが、公演を実施するための緩和策、公演機会の提供を求める。(伝統芸能・その他芸能／創作発表)

広くアート団体取材いただき、活動の様子やアーティストが何を考えているかについて私たちが発信するサポートをしていただきたい。活動の内実や、私たちがどのように社会と向き合っているのかをもっと知っていただければ、こういう情勢の中でも、もっと助け合えるのではないかと考えている。(音楽／企画制作)

京都市の緊急奨励金は大変ありがたいです。アトリエや倉庫などの維持費・家賃にかかる費用のやりくりがたいへん厳しく、そこへ充てられる支援があると助かる人は多いように感じます。(演劇・舞踊／創作発表)

京都市の芸術奨励金は個人に限っているため法人は参加できない。美術、照明、音響、映像などのサポートスタッフ業界に関しての支援策がほとんど無いに等しいので考えてほしい。(デザイン・建築・ファッション／技術提供)

コンテンツのオンライン化にともなう権利関係(肖像権、知財、人権等)の専門知識を持った人への相談。(映画・漫画・メディア芸術／教育研究)

実践している取組

スタッフへの支払いは中止できないので、無収入ではあるが継続している。(演劇・舞踊／創作発表)

事業のほとんどをインバウンドにフォーカスしていたが、新たに日本語のホームページを設立し、(中略)国内向けに事業を展開していく予定。(生活文化・国民娯楽／教育研究)

団体を休業とし、雇用調整助成金を取得しながら最低限の体制で運営をしています。三密を回避しながらの上演(動画配信)のあり方を模索しています。(演劇・舞踊／創作発表)

高齢者施設が、外部からの立入はもちろん入所者も建物の外へ出られない状況なので、録画DVD配布によるコンサートを届けている。(音楽／創作発表)

個人的にライブへのクラウドファンディングや物販の購入での応援等を行っているが、(中略)システムの構築に向けて動きたいと思います。(美術／教育研究)

ガイドラインの精査や具体的な運用の検証。また、クラウドファンディングの準備を行っている。(演劇・舞踊／施設運営)

小学校低学年の子どもたち対象のダンスのミニワークショップを動画で配信しました。数箇所の劇場から一般市民や児童に向けてのメッセージや動画配信の依頼があり、現在準備中です。(演劇・舞踊／創作発表)

工房における感染症のリスク安全に関する勉強会の企画立案。(美術／創作発表)

その他

法人格のない任意団体が使えるコロナ関連の支援がほとんどないので、何とかしてほしい。(映画・漫画・メディア芸術／企画制作)

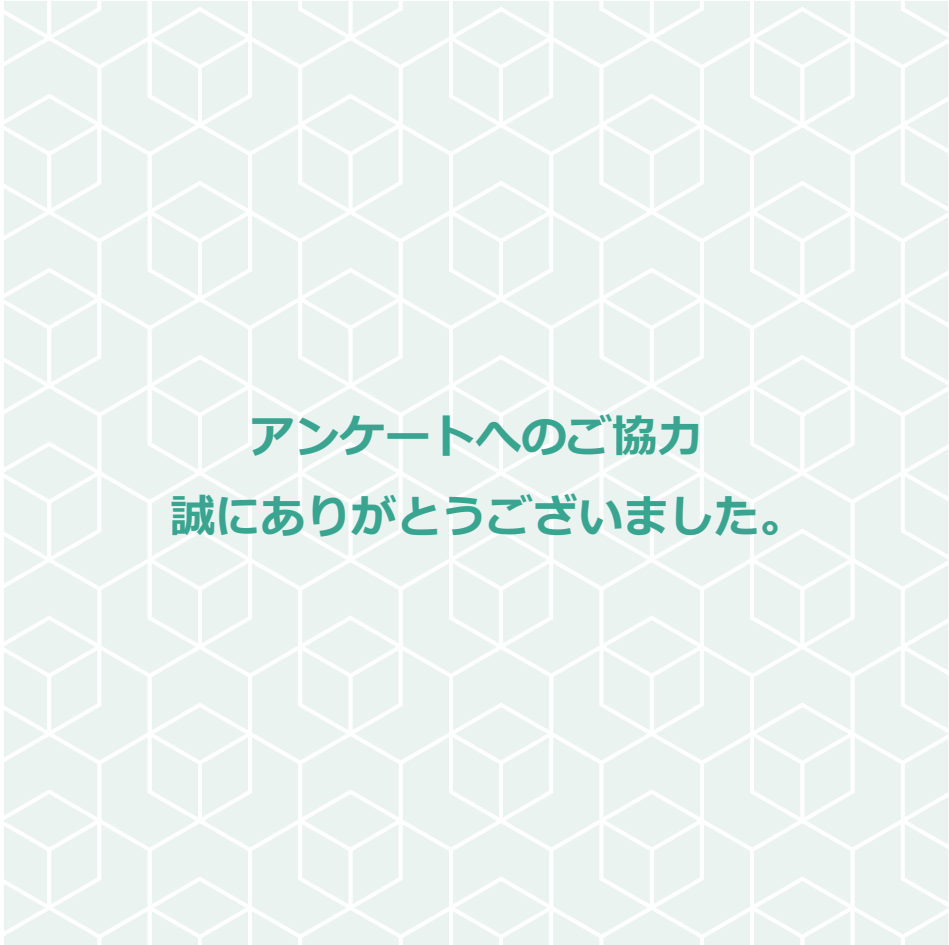
クライアントであったホテルがコロナ危機により廃業する。かつてコレクションしていただいた数々の美術品の整理に追われている。(美術／創作発表)

学校教育に関して、小学校、中学校における古典の授業に「オンライン授業」が結びつく可能性を感じています。(中略)来たるアフターコロナに向けて授業メニューを作っています。(伝統芸能・その他芸能／創作発表)

今回の支援の動き、大変心強く感じました。ありがとうございました。(音楽／企画制作)

地道に20年以上表現活動をして参りました。なんとかご支援いただいて、継続してアートがこの街に存在できるよう頑張ろうと思います。(演劇・舞踊／創作発表)

このままでは芸術活動再開となっても、アーティストはいても支えていく裏方のサポートスタッフがいないという状況が早晩来るのではないか。それほどサポートスタッフ業界は困窮しているので何か施策を期待している。(デザイン・建築・ファッション／技術提供)



アンケートへのご協力
誠にありがとうございました。

問合せ先

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394番地

Y・J・Kビル2階

TEL : 075-366-0033

FAX : 075-213-3181

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)

TEL : 075-213-1000

E-mail: kyoto_art_support@kac.or.jp